

山門会（春の彼岸会法要）のご案内

拝啓 初春の候、貴家益々ご清祥の段お慶び申し上げます。
当院、例年通り山門会（春の彼岸会法要）を厳修いたしますので、
万障お繰り合わせの上、ご参詣下さいますようお願い申し上げます。

合掌

平成十九年 山門会（春の彼岸会法要）

日時 三月二十三日（金）

午後一時より

※本年は、例年より三十分早い、午後一時開式です。ご注意ください。

黄檗宗 霊亀山 九島院

大亀地蔵尊・永代供養墓開眼法要

本年は、念願の永代供養墓完成に伴い、
大亀地蔵尊 永代供養墓開眼法要をも彼岸法要に先立って執り行います。こぞつてご参詣下さい。



大亀地蔵尊（だいきじぞうそん）

お彼岸とは？

仏教では、
いろいろな欲望や苦しみ、悩みの多い現実の世界（この世）を『此岸（しがた）』といい、苦しみのない理想の世界を『彼岸』と教えています。

彼岸は、『パーラミター』という古代インド語を漢訳した『到彼岸』を略したものです。この『到彼岸』は理想の向こう岸へ渡るという意味です。この期間は、つとめて信心をおこし、あこがれの世界へ行くための修行をしましょうというのです。その基本、原点が『六波羅蜜』と言う六つの実践方法です。『六波羅蜜』とは布施、持戒、忍辱、精進、禅定、智慧の実践徳目です。

◎彼岸会法要有志袋を同封いたしましたので、
ひが九回向法名用紙にご先祖・先亡諸精霊名を
ご記入の上、回向料を入れて、お送り下さい。

九島院第二十五世住職 奥田啓知（智證）
副住職 奥田穂積（明勝）

